



スマホを活用すれば、授業はもっと進化する。

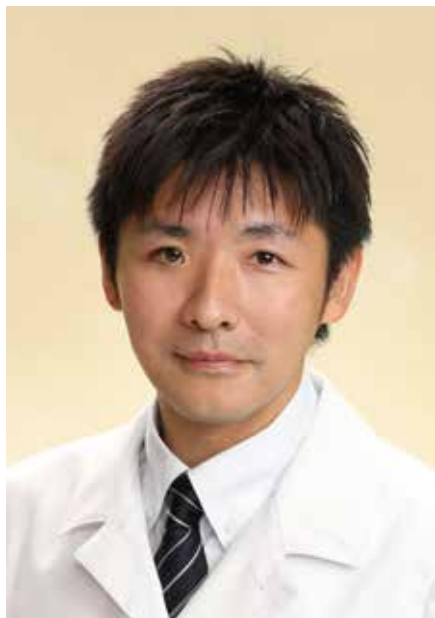
導入事例のご紹介

首都医校 川島彰人先生

新規登録すると
30日間無料
で使えます！

※学校の授業で使う場合は
クイックアンケート機能は
無制限で無料です。





新百合ヶ丘総合病院
総合診療科 部長
首都医校 非常勤講師

川島 彰人 先生

主に利用した機能

アンケート

教材倉庫

ドリル



レポート

連絡・相談

ニュース



■どんな効果があったのか？

先生より

学生に考えることを促し、学んだことをその場でアウトプットする機会を与えることができた。

学生より

受け身の授業よりも物事を深く考えるようになった。

■授業の概要

看護学生を対象とした『疾病治療学』の授業を行いました。

■C-Learning 導入の狙い

「教師が教壇に立ち、一方的に学生に話しかける」という従来型の授業スタイルは、記憶の定着率の観点からあまり効率的でないということはよく知られています。グループワークなどを積極的に取り入れることで、医学に興味をもてるような楽しい授業にすることが大事なテーマと考えていました。学生に考えることを促し、自らの考えをアウトプットできる機会を作るために、C-Learning がとても有用だと感じ導入しました。



アンケート機能

アンケート機能でリアルタイムに回答を提示できるから、自分以外の学生がどのように考えたのか、あるいはどう間違えたかなどを共有できる。

授業中によく利用したのはアンケート機能です。知識の詰め込みではなく思考を促すタイプの命題を PowerPoint を用いてスクリーンに表示し、個人あるいはグループで話し合った結果を回答させます。その回答結果はリアルタイムにスクリーンに表示することができるので、自分以外の学生がどのように考えたのか、あるいはどう間違えたかなどを共有しつつ解説することができました。



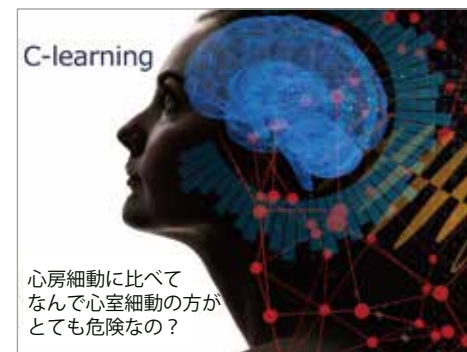
教材倉庫

授業に関連した動画などを教材倉庫に掲載することで、さらなる理解や知識の定着を図りました。



ドリル機能

授業内容に準じた演習問題や過去の国家試験問題をドリル機能に提示し、授業中の確認や自宅での復習に利用しました。



心房細動に比べて
なんで心室細動の方が
とても危険なの？

| | | |
|---|---|-----|
| 1 | 血液を全身に送りだすことができないから全ての臓器が死んでしまう。 | ☆ - |
| 2 | 血液を勢よく循環させられない | ☆ - |
| 3 | 血液が循環されないため。 | ☆ - |
| 4 | 正常に血液が全身に送られないため | ☆ - |
| 5 | 心房は心室に血液を送るだけだが、心室は全身や肺に血液を送らなければならない、上手く送らないと致命的であるから。 | ☆ - |
| 6 | 全身に血液を送り出す力が細胞だと分散されてしまいうまく送ることができない | ☆ - |
| 7 | 全身に新鮮な血液を送り出すという大切な役割を担っているのは左心室である。その左心室が細動することは、脳を含む全身に血液が届かず酸素が足りなくなることを意味する。そのため、心室細動は死に繋がる | ☆ - |

レポート機能

授業内容よりもステップアップした命題や症例問題をレポート機能に提示することで、向上心の高い学生向けに提出を自由化しました。

似たような病態をすでに2パターン授業でたよ。どう思う？

Aさん(27歳、男性)は、地震によって倒壊した建物に下腿を挟まれていたが、2日後に救出された。既往歴に特記すべきことはない。注意すべき状態はどれか。

1. 尿崩症
2. 高カリウム血症
3. 低ミオグロミン血症
4. 代謝性アルカローシス

問1 答えは何番？
問2 この男性の身体の中ではどのようなことは、これまでに授業で出てきた病態で似ているものが2つあります。何でしょうか？

レポート出題例

似たような病態をすでに2パターン授業でたよ。どう思う？

答えは2番だと思います。
長時間下腿を圧迫されていたことにより、下腿の任意部の周辺に血腫や骨格筋の筋細胞の壊死が起こる状態となります。それに伴って機軸筋融解症がおきてカリウムやミオグロビンなどが血液の再循環が来た時に血中に漏れだし全身に広がります。
その結果高カリウム血症となるのではないかと思います。
血中カリウム濃度の上昇により急性の心不全、悪心停止の危険も考えました。
またミオグロビンが大量に血中に流れ出したことにより急性の腎不全の危険もあると思いましたが、(3番のミオグロビン血症ではない)
血中のカリウム、ミオグロビンの濃度が上がることによって代謝性アシドーシスの状態だと思いましたが、(4番の代謝性アルカローシスではない)
また腎臓の機能低下をまねくので尿量は低下するのではないかと思います。(1番の尿崩症ではない)

評価 正解です！
アセスメントもよく出来てるね。
長時間足が圧迫されていて、筋肉などの組織が壊れて細胞内の物質が出てきてしまう状態だね。
救出されて足の圧迫を解除されたはいけれど、逆にそれらの物質が一気に体内を通ることになり全身状態が悪くなることもある。
これをラッシュ症候群という。

レポート回答例

相談履歴 | 新規作成

明日は肺癌について勉強します
川島彰人 2017/11/14 19:29

レポートの問題について
川島彰人 2017/10/13 21:44

10月4日講義内容について
2017/10/04 22:22
川島先生へ

こんばんは。

ケース7ですが『糖尿病・腎臓が悪く・貧血・息切れ』をネットで検索ワードにして調べたところ、糖尿病性腎症→GFR低下・尿管間質細胞傷害→腎エリスロポエチン産生低下→赤血球減少→自覚症状は息切れ、HbA1cコントロール不良の流れで運動・食事・薬物療法の流れになると考えました。

入学以来、学校が終わってから初めて調べ物をする程、今日の講義が一番楽しかったです。これからも川島先生の授業を楽しみにしています。
本日もご講義、ありがとうございました。

返信する

連絡・相談機能

レポート機能と連絡・相談機能を活用することで、もっと学びたいという学生の気持ちに応えることができた。授業の外にも学びの場が広がった。

学生からの授業に関する質問を24時間いつでも受けつけ、メールのやりとりと同様にレポートなど問題解決まで導く流れにしました。

ニュース

ほんの10秒でも前日の授業内容について記憶を想起させて復習につなげました。

送信時間をタイマー設定できるので、授業翌日に関連する話題を1、2行程度のごく簡単な文章にしてニュース機能を使って学生全員に一斉送信します。

予想以上に学生が楽しく授業を受けていた実感があります。
ドリル機能を授業外や試験前の復習に利用している学生も多くみられました。

授業だけではどうしても学生のモチベーションや基礎学力に差があるため、個々に対応できない部分がありますが、C-Learning を活用することで、各々に合わせた対応ができることが大きなメリットだと感じました。

■学生の反応

学生からの感想はとても良好でした。

「受け身の授業ではなくアウトプットできるので、物事をより深く考えるようになった」という意見が多く聞かれました。予想以上に学生が楽しく授業を受けてくれたと感じます。

【学生の書き込みから】

「入学以来、学校が終わってから初めて調べ物をする程、今日の講義が一番楽しかったです。」

「グループワークがとても有意義な時間となり、とても勉強になりました。自分で考えて答えることで頭の中にインプットされます。」

「発言する力や生徒同士のコミュニケーションの向上に繋がりメリットが多かったです。毎回、ご多忙な中、生徒のために色々と考えて授業の準備をしてくださりありがとうございます。」

| 授業4 | | |
|--|---|---|
| 授業についての(もっとこんな授業がいいなど) 要望を気軽に気兼ねなく聞かせて下さい。 | | |
| 回答 | | |
| 番号 | 回答内容 | ★ |
| 1 | 授業がゆっくり進んでいくのはかなりありがたいです。このままの授業スタイルを希望します。 | ★ |
| 2 | おはようございます。今までの授業について、分かりやすくとてもいいです。難しいですが、いつも授業を楽しみにしています。これからも、よろしくお願いたします。 | ★ |
| 3 | 薬理学のテストが近くてレポートが手をつけられていません。すいません。 | ★ |
| 4 | 疾病診療額 ではありがとうございました。川島先生の授業は分かりやすい説明と資料もカラーで良かったです。可能であればまだ授業を受けさせていたきたいくらいです。授業の中で構造機能の内容も盛り込んでいただけるとありがたいと思います。C-learning も動画やドリルがありちょっとした時間に活用することができ助かっています。ありがとうございます！ | ★ |
| 4 | 先生が毎回して下さる振り返りは大事だと思うので外さないで欲しいです。次回授業のプリントを事前に頂くことができたらず習ができて嬉しいです。病気の方の具体的な情報が知りたいです。採血であれば数値とか具体的な例が別添であったらいいなあと思います。 | ★ |



新規登録すると30日間無料で 先生・学生の全ての機能がお試しいただけます。

(学校の授業で使う場合はクイックアンケート機能は無制限で無料です)

メールアドレス、Facebookアカウント、Googleアカウントのいずれかで登録できます。

登録はこちらから
<http://c-learning.jp>



団体契約についてのデモ申込み、お問い合わせ、お見積もりについて

お問い合わせ方法

契約管理センター

keiyaku@netman.co.jp に以下のメールにてお問い合わせ下さい。

件名：「団体契約について」

本文：連絡先（会社名、部署名、住所、電話番号等）

利用したい機能

利用学生数

希望相談方法（面談、電話、スカイプ等）



操作方法のお問い合わせについて

お問い合わせ方法

C-Learning サービスサポートセンター

air-support@c-learning.jp までメールにてお問い合わせ下さい。